

東京学芸大教育 中橋 美智子 ○ 遼 迪 船舶織装品研究所 村山 雅己

【目的】 私達の住む環境気候は、地域により異なり、また同一地域でも季節によって変化する。そこで環境の相違により衣服はどのように異なるものなのか、この度、中華人民共和国（内モンゴル自治区）の留学生を通しその実態把握が可能となり、日本との比較を試みる機会を得た。本地域は日本と相違し、大陸性気候であり風が強く、乾燥し、冬期では著しく温度が低い。そこで、今回、中国内モンゴル地域の冬期におけるモンゴル人を対象に、成人男女の衣服の実態調査を試みた。寒冷地域における着衣状態の基礎資料として、適切な着衣のあり方を解明する事を目的とした。

【方法】 調査地域：中国内モンゴル自治区フホト市。調査対象：専門学校男子学生22名、女子学生31名（年齢18-20才）調査期間：1993年12月中旬（室内15°C, 35%RH, 戸外-11°C）調査内容の概要：1)年齢、身長、体重 2)気温・湿度（室内、室外）、寒冷感覚など 3)着衣衣服（上衣、下衣、類被服）着衣順位、重量、形態、素材など。

【結果】・男性の一般的服装：「上衣」肌着（ラソング）、シャツ（Yシャツ or ホロシャツ）、セーター（厚手）、ジャンパー又はコート（皮）「下衣」ブリーフ、ズボン下2枚（綿・毛）、ズボン（毛厚手）「類被服」帽子、マフラー、手袋（皮）、靴下、防寒靴、ベルト。平均着衣重量：（室内2654g, 戸外4483g）。

・女性の一般的服装：「上衣」ブラジャー、肌シャツ、ブラウス、セーター（厚手）、ジャンパー又はコート（皮）「下衣」ショーツ、ガードル、ズボン下2枚（綿・毛）、ズボン（毛厚手）「類被服」マフラー、手袋（皮）、靴下、防寒靴、ベルト。平均着衣重量：（室内2115g, 戸外3763g）